

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公表番号】特表2008-520350(P2008-520350A)

【公表日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【年通号数】公開・登録公報2008-024

【出願番号】特願2007-543091(P2007-543091)

【国際特許分類】

A 6 1 C 19/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 19/04	K
A 6 1 C 19/04	Z
A 6 1 C 19/04	J

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月29日(2008.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

歯列弓の複数の歯の異なる1つずつにそれぞれが関連付けられる複数の歯科矯正装具とそれら歯科矯正装具の各々の溝に受容されるアーチワイヤとを含む、提案された歯科矯正処方を、デジタル方式で表示することと、

前記アーチワイヤ及び前記複数の歯科矯正装具のデジタル方式の表示によって体験的に知られたトルク損失に基づき、3次元(3D)モデリング環境の中で、前記歯列弓についての予測される最終咬合を算定することと、

を含む方法。

【請求項2】

前記トルク損失が、不完全なアーチワイヤ圧出と、前記複数の歯科矯正装具の各々の前記溝に対する前記アーチワイヤの完全でない係合との、少なくとも一方を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

予測される最終咬合を算定することは、前記アーチワイヤに沿った各装具位置における前記アーチワイヤのねじれ角度を決定することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

コンピューティングデバイスと、

前記コンピューティングデバイスで実行されるモデリングソフトウェアであって、歯列弓の複数の歯の異なる1つずつにそれぞれが関連付けられる複数の歯科矯正装具とそれら歯科矯正装具の各々の溝に受容されるアーチワイヤとを含む、提案された歯科矯正処方と、デジタル表示を提供するモデリングソフトウェアと、

前記提案された歯科矯正処方についての前記複数の装具へのアーチワイヤ係合を、3次元(3D)モデリング環境の中でモデル化するトルク調整モジュールと、  
を具備するシステム。

【請求項5】

プログラマブルプロセッサに、

歯列弓の複数の歯の異なる1つずつにそれぞれが関連付けられる複数の歯科矯正装具と

それら歯科矯正装具の各々の溝に受容されるアーチワイヤとを含む提案された歯科矯正処方による治療の結果として生じる、前記アーチワイヤ及び前記複数の歯科矯正装具によって体験的に知られたトルク損失に基づき算定される前記歯列弓についての予測される最終咬合を、算定させるとともに、

前記予測される最終咬合のデジタル表示を、表示させるための、  
指示を含む、コンピュータ読み取り可能な媒体。